

教科		社会		科目		単位数		4	
学年		中学3年		科		専攻・コース			
教科書		中学社会 歴史・公民 (教育出版)			副教材		総合歴史(浜島書店) 公民資料集2018(新学社)		
学習到達目標		広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な社会的資質の基礎を養う。							
評価の観点		① 社会的事象への関心・意欲・態度 ② 社会的な思考・判断・表現 ③ 資料活用の技能 ④ 社会的事象についての知識・理解							
期	月	学習内容・項目			学習のポイントと到達目標			備考	
前 期	前期 第1回 定期 試験	<歴史> 近代の日本と世界							
		1	明治維新と立憲国家への歩み		① 明治維新と明治政府の憲法発布、国会開設により、日本が近代化に向けて歩み出したことを理解する。				
2		激動する東アジアと日清・日露戦争		② 日清・日露戦争と条約改正を経て、国際社会における日本がどう変わったか理解する。					
		3	近代の産業と文化の発展		③ 日本の産業革命と文明開化により、国民の生活が大きく変化したことに気付く。				
前 期	前期 第2回 定期 試験	<歴史> 二度の世界大戦と日本							
		1	第一次世界大戦と民族独立の動き		① 第一次世界大戦の原因や日本がどのように関わることになったのかについて理解する。				
		2	大正デモクラシー		② 第一次世界大戦を機に高まった民主主義運動について理解する。				
		3	恐慌から戦争へ		③ 世界恐慌とファシズムの台頭により日本が軍国主義へと傾き、満州事変、日中戦争へと発展したことを理解する。				
		4	第二次世界大戦と日本の敗戦		④ 第二次世界大戦、そして太平洋戦争の原因と経過を知り、戦争の恐ろしさ、原子爆弾の怖さを知る。				
		5	日本の民主化と冷戦		⑤ 敗戦、そして独立から復興までの流れを知り、日本国憲法と冷戦について、理解する。				

		<p><公民> 私たちの暮らしと現代社会</p> <p>1 私たちが生きる現代社会</p> <p>2 現代につながる伝統と文化</p> <p>3 私たちがつくるこれからの社会</p> <p>人間を尊重する日本国憲法</p> <p>1 民主主義を支える日本国憲法</p>	<p>① 「少子高齢化」、「情報化」、「グローバル化」の3つのテーマから現代社会の特徴をとらえ、自分と世界とのつながりを考える。</p> <p>② 科学・芸術・宗教を軸に日本各地に残る年中行事も絡め、それぞれの理解を深める。</p> <p>③ 「対立と合意」、「効率と公正」の概念の獲得を目指し、ルール作りを通して認識を深める。</p> <p>④ 日本国憲法に規定されている「国民主権」、「基本的人権の尊重」、「平和主義」の基礎を学ぶ。</p>	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後	後期第1回定期試験	<p><公民> 人間を尊重する日本国憲法</p> <p>2 憲法が保障する基本的人権</p> <p>3 私たちの平和主義</p> <p>私たちの暮らしと民主政治</p> <p>1 民主主義と日本の政治</p>	<p>① 誰もが生まれながらにして持っている権利であり、侵すことのできない永久の権利であることを理解し、人権の大切を実感する。</p> <p>② 日本国憲法における平和主義の立場をふまえながら、これからの社会の平和の構築について考える。</p> <p>③ 選挙制度や国会のしくみなどを通じて、現在の日本の「議会制民主主義」を理解する。</p>	
		<p><公民> 私たちの暮らしと民主政治</p> <p>2 司法権の独立と裁判</p>	<p>① 裁判のはたらきや、刑罰の種類について理解し、模擬裁判などを通じて、死刑制度や冤罪について考えを</p>	

期	試験	<p>3 地方自治と住民の参加</p> <p>私たちの暮らしと経済</p> <p>1 消費生活と市場経済</p> <p>2 生産のしくみと企業・金融</p>	<p>深める。</p> <p>② 地方公共団体の仕事やしくみを理解し、地域が抱える課題などに気づき、住民参加による地方自治の意義について考える。</p> <p>③ 生徒たちに身近な消費行動について取り上げ、需要と供給の関係について理解する。</p> <p>④ 生産をになっている様々な企業を取り上げ、「株式会社」のしくみを学ぶ。また銀行を中心とした金融機関の役割について学ぶ。</p>	
	学年末試験	<p><公民> 私たちの暮らしと経済</p> <p>3 財政と政府の役割</p> <p>安心して暮らせる社会</p> <p>1 労働と社会保障</p> <p>2 これからの日本経済の課題</p> <p>国際社会に生きる私たち</p> <p>1 国際社会と国家</p> <p>2 国際社会が抱える課題</p>	<p>① 政府の経済活動について、歳入と歳出のグラフなどを用いながら、財政の役割と税金の意義について理解する。</p> <p>② 働くことの意義を考え、労働者を守る権利や法律について学ぶ。</p> <p>③ 公害と環境問題、地域経済の活性化、グローバル化する経済をもとに、今後の日本経済のあり方について考えを深める。</p> <p>④ 国家には主権があり、国家が支配する領域があることを理解し、その国家間の平和の実現のために「国際連合」があることを理解する。</p> <p>⑤ 地球環境問題、資源・エネルギー問題、国際紛争、食料や水の問題などについて、新聞やインターネットを活用し理解を深める。</p>	